



理数科ニュース

Welcome to the field of scientific intelligence!
Open your wings and fly to a new world!



今年度最終版の
3月号です。

卒業生からのメッセージ

今春3月の卒業生から1, 2年生に向けてのメッセージをもらいました。卒業生の‘思い’受け継いでください。

- 【無題】高校生活は、あっという間に終わります。やっておきたいことは、今のうちにやっておきましょう(一)。
- 【フィールドワーク最高!!】理数科は一年生の夏に蒜山研修を行っていますが、様々な分野の研究について少しだけ触れることができ課題研究について考えることができるため、とてもいい経験になります(悠)。
- 【勉強しよう】とにかく予習をしよう。とにかく授業では確認程度にして、課題をさっさとすませましょう。さすれば3年の夏には大量の貯金があるはず(奥)。



- 【とにかく明るく】常に高い志をもって、やりたいと思ったことを迷わずやって絶対に後悔しないように生活してほしいです。とにかく明るく、とにかく明るく未来を信じて頑張ってください(友)。
- 【がんばれ!】課題研究はまじめに取り組んだほうがいいですよ(草)。
- 【課題研究について】後輩のみなさん、がんばってますか。理数科の特色は数あれど最大の特色は課題研究でしょう。今は、面倒くさいな、と思う人がいるかもしれませんが、入試で使えます!!大会で賞を取ればかなり有利です!!頑張ってください(植)。
- 【一人で悩まないこと】高校生活では色んな壁に当たると思います。勉強、部活、友達、恋愛など人それぞれ悩むことは違います。そんな時は、親でも兄弟でも先生でも頼ってみて。きっと君たちの周りのみんなは力になってくれるから(黒)。
- 【後輩へ】面倒くさいとか自分には出来ないから誰かに任せると思わずに自分が主役だと思って、積極的に行動をしていかないといい結果は残せないから頑張ってください(秋)。
- 【無題】課題研究や、2年生の人は受験勉強がこれから大変になってくると思いますが、今自分が努力していることを信じて頑張ってください(渡)。
- 【我が道をゆけ】後輩の諸君、世の中には様々な人間がいる。勉強法などをさも良さに話してくれる輩もいる。だが君たち一人一人に合った勉強法がある。周りの言うことだけにとらわれず、我が道をゆけ!!(深)。
- 【課題研究】正しいデータよりも信頼できるデータの方が大事です。自分達で考えた方法で結論を出していく。うまくいかないのは当然のことです。大事なのは、試行錯誤です。創意工夫です。天城だからこそそのチャンスを楽しんで!!(和)。



- 【選択】やる気が起きやすい教科を選択すべき(北)。
- 【後輩に向けて】何事も全力になれば、自ずと充実した学校生活を過ごすことができます(栗)。
- 【1, 2年生へ】課題研究や様々な活動を通して学んだことは、たくさん生かす場があります。今、目の前にあることから逃げずに向き合えば、きっと良いことがあると思います。皆さんの活躍を期待しています(西)。
- 【課題研究】課題研究でうまくいかないことは、この先何度もあると思いますが、その度に諦めるのではなく、なぜ失敗したのかをグループのメンバーと話し合い満足のいく研究ができるよう頑張ってください(樹)。
- 【充実した3年間】不安だらけの理数科でしたが、本当に普通科ではできないような経験をさせて頂くことができ、充実した3年間を送ることができました。そして学んだことは“諦めないこと!”。残りの時間を有意義に過ごしてください(木)。
- 【課題研究で学んだこと】3年生になり、自分達の研究を色々な場所で発表しました。人前で話すことが苦手な私でしたが、何度もプレゼンをして、以前よりも人前に立つことに慣れました。1, 2年生のみなさんも積極的に頑張ってください(桐)。

- 【理数科Fight!】理数科は、すごく楽しい。3年間クラスが変わらないから団結力もあって、行事には強い。課題研究もこの天城高校理数科だからこそできる素晴らしいものです。最後まで諦めず、何事にも全力で頑張ってください(逸)。
- 【可能性】課題研究は、不安と好奇心の入り混じったものだと思います。不安を感じるのも壁にぶつかるのもみんな同じです。でも努力で自分の可能性は大きく変わります。自分の可能性をなめずに努力し続けてください(内)。
- 【今日は家に帰ろう】王道の物理であろうと、邪道の数学であろうと頑張った分だけ研究は評価されます。自分の選んだ研究テーマを曲げずに(状況によってはまげるのもあり?!)、しっかりと熱意と時間を注いで頑張ってください(合)。
- 【無題】勉強ももちろんだと思いますが、課題研究もしっかりやってください。自分のできることが増えて自信にもなります。高校生で研究ができるのは貴重な経験だと思うので頑張ってください(蒼)。
- 【勉強がんばれ!】私はこの高校生活で1つ後悔していることがあります。それは勉強です。もっと提出物を出して、テスト勉強をしていればよかったと思うことがあります。皆さんは後悔ないようにマジメに勉強に取り組んでください!(星)。
- 【ファイトです】1年生はまだまだこれから、2年生はラストスパートに向かって頑張ってください。分からなかったり、前に進めなかったりすることもあると思いますが、目の前の事に一生懸命取り組めば後悔のない3年間になるはず(竹)。
- 【1, 2年生のみなさんへ】1, 2年生のみなさん!これからどんどん勉強が難しくなってくると思います。基礎をしっかりしていれば大丈夫です。頑張ってください。勉強などで困ったことがあれば先輩を頼ってください(桃)。



- 【3年間を通して】3年間、Rで過ごして、クラス変えがないから大変なこともあったけど、とても充実した日々を送ることができました。研究を通してたくさん学ぶことができます。頑張ってください(萌)。
- 【楽しめ】三年間全力で楽しめ。そうすれば何をしても何とかなるし、楽しそうにしていれば人間関係もうまく回るし、せつかくの天城生活、楽しまなきや損! 課題研究も今後二度とない経験かも。どうやってでも楽しめよ(旭)。
- 【理論的思考力】私は最後まで、理数科を選んで良かったと思っています。課題研究で学んだことは受験勉強やふだんの授業でも理論的な思考として活かすことができました。なかなか結果が出ず、つらい時があっても最後まで頑張ってください(風)。
- 【自分を甘やかすなよ。】私は自分では到底難しい大学を目標に持ち、その目標に酔いしれてしまって自分のレベルを見失ってしまいました。特に高2の時はそれで大変苦労しました。皆さん、目標は高く、自分に厳しくの心掛けで頑張ってください(定)。
- 【1, 2年生へ】がんばってください(弘)。
- 【無題】研究、部活などは最後のものまでやり切るべきです。中途半端に終わらせると残るのは後悔だけです。みなさんの活躍を期待します(青)。
- 【無題】がんばってください(田)。
- 【課題研究】最初は皆やる気を出して頑張ることはできますが、それを持続させるのは難しいです。上手くデータがとれなくてもめげずに頑張ってください。グループ研究なのでコミュニケーションをしっかりとしてください(康)。
- 【後輩のみなさんへ】高校生活3年間は本当にあっという間なので悔いのないように学校生活を送ってください(柳)。





今年度最終版の
3月号です。



高校生と中学生のサイエンスフェスタ コラボ発表会

3月5日(土)、本校、サイエンス館において、‘サイエンスフェスタ’(主催:天城中学校・高校、サイエンス部、SSH企画推進室)が開催された。本校生徒(中高生)・保護者・本校教職員、他校の先生、指導助言をいただいた大学の先生など約500名が参加し、中学3年生(全員)や高校生の課題研究発表、バースト一校(米国姉妹校)で発表した課題研究の英語発表が行われ、活発な発表と質疑応答が繰り返された。

一指導・助言をいただいた大学の先生方

東京工業大学大学院	石川 謙	先生
岡山大学大学院	稲田 佳彦	先生
岡山大学大学院	喜多 雅一	先生
東京大学大学院	飯田 俊彰	先生
早稲田大学	細川誠二郎	先生
岡山大学	石井 一郎	先生
次世代人材育成センター		

主なプログラム	午前	午後
		中学生・課題研究ポスター発表 高校生・課題研究の口頭発表・ポスター発表 バースト一研修参加者によるポスター発表

＜高校生・課題研究の口頭発表とポスター発表＞ 高校1年生4グループが研究の成果を発表し、大学の先生方の指導を受けた。



【サイエンスフェスタに参加しての生徒感想】濃淡電池のポスター発表を2回しました。正直、初めてのポスター発表だったのですが、質疑応答までやりきることができました。次は、もっと多くやってみようと思いました。知らない人にも発表ができるよう次は頑張ります。スライド発表もしました。ボロボロに叩かれましたが大変よい経験になりました。アドバイスしてくださったところを直し、もっと良い発表にします。また、大学の先生から名刺をいただいたのも嬉しかったです。今回の出会いを大切に有効活用していきたいです。中学生のポスター発表もいくつか見ました。ポスターの作り方や発表の司会など参考にしていきたいです。同じ濃淡電池の研究発表もあり、「負けられない」と感じました。来年もサイエンスフェスタに、より良い研究結果をもって参加したいです。(丸)

＜高校生・バースト一研修参加者によるポスター発表＞ 高校2年生が、研究成果を英語でポスター発表した。



＜中学生・午前のポスター発表＞ 中学3年生全員が、緊張の中、課題研究の成果を発表し、質疑応答も円滑にこなした。



＜中学生・午後の口頭発表＞ 中学3年生12グループが、4会場で、課題研究の成果を堂々と発表し、また、指導を受けた。



【サイエンスフェスタに参加しての生徒感想】○教授の先生方には、素通りして欲しい・・・と願っていましたが、2人の先生に(発表を聞いて)指摘をもらいました。とても緊張しました。でも、思ったより会話ができ、自分のポスターに足をとめていただいたことに今はとても感謝しています。とっても嬉しかった・・・研究してよかった。母にはポスターが少し地味じゃない?って言われました。大人になった時、必ずこんなふうに発表しなければならぬときの練習になりました。(中)

○課題研究は、1年間、すごく大変でした。パソコン操作が苦手なので研究に必要な資料やポスターを作るのに時間がかかりました。また、担当の先生とのディスカッションも大変でした。締め切りに追われて苦しかった。発表練習がうまくいかず不安でした。フェスタ当日は、朝からお腹がきりきり痛むくらい緊張しました。でも、本番は、なぜか緊張せず、お客さんも見てくれて、すごく嬉しく、とても楽しかったです。ポスターの字が多くて見にくかったので喋りでカバーしようと頑張りました。親は「あんたじゃないみたいに頭良さそうに話してたな。」と言っていました。発表して良かったと思います。(中)